

～愛教大の活性化と愛教大生のスキルアップを目指した～

AUE学生チャレンジ・プログラム 2018

成

果

発

表

会

2019.2.28 (Thu)

本部棟3階 第一会議室

13:00～15:15

発表団体

1. 大学散育ツーリズムin大館
2. 刈谷を発信源とする愛知県魅力発信事業
ーお土産を通じた愛知県の観光等の紹介ー
3. 愛散版 寺子屋
～ちょっとだけ特別な体験を～
4. 愛知散育大学ダンス部presents!
「子どもの自己表現を引き出そう！」
5. 散留プロジェクト
～先生になる人の留学を応援～
6. プラネタリウム開発Vol.3

次第(時間は予定)

- 13:00 挨拶(新井学生支援委員会委員長)
- 13:03 成果発表開始(1グループ プレゼンテーション5分, 質疑応答3分)
- 14:01 ポスターセッション(各ブース, 成果の発表, 質疑応答)
- 14:30 選考委員会会議
- 15:00 表彰式, 講評(後藤学長), 写真撮影

大学教育ツーリズム in 大館

～秋田県大館市から学ぶふるさとキャリア教育～

活動概要

10年連続全国学力テストで上位を占めている秋田県の中でも世界に開かれた教育都市を目指す大館市では、「大館ふるさとキャリア教育」と銘打ち、先進的な教育活動を実践している。この大館市の教育を視察し、次世代の学校教育の在り方のヒントを求めたのが、この企画の目的である。

メンバー

◎原田梨世(英語4)・上坂茅穂(情報3)
・伊藤夏帆(英語4)・酒井彩(教育学3)
・石原満里奈(英語4)・前田純樹(教育学3)
・野田崇貴(英語4)・加藤光一郎(社会3)
・小池拓実(数学3)・中島夕綺(幼児2)
・三浦理沙(教育学3)・佐藤真綾(特別支援2)
・伊吹直也(学外2)・朴ミナ(留学生)

◆事前学習

(1)上井先生による勉強会

参加者一人ひとりの大館視察の視点を発表し合った。

(2)佐布里小学校見学

知多市の地域ブランド化推進事業実践を行う小学校の視察を行った。



◆大館1日目

(1)大館市の教育説明

少年自然の家にて、市教育長から「大館ふるさとキャリア教育」の概要を聞いた。大館市は「消滅可能性都市」を宣告されたことを受け、「ふるさとキャリア教育」を掲げている。そして公立小中学校が独自のふるさとキャリア教育の実践を行っている。



◆大館2日目

(1)扇田小学校 授業マイスター

マイスター認定を受ける武石教諭による小学6年生の算数の授業を視察した。

(2)子どもハローワークの概要説明

地域や社会が行う仕事やイベントの手伝い、ボランティア、職場見学や職場体験が自由に何度でも体験できるシステム

(3)トワイライトコンサート

プロジェクションマッピング

児童が全て企画運営を行い地域の方々を招待するコンサート。

(4)ドリマワーク

未来の自分をイメージしながら、「住みたい社会」「欲しいもの」「笑顔にしたい人」「行きたいところ、なりたいたい自分」の4つを書き、発表した。

成果

今回、事前学習、大館ふるさとキャリア教育の視察を通じて、これからの学校教育の在り方について考えを深めることができた。

参加した学生は、各自問題意識や疑問を持ちかえることができた。また、学んだことをどう愛知に落とし込み、実践していくべきなのか、深めるために学内と学外で報告会を行い、愛教大の学生以外にも、教育委員会や様々な教育に関わる方と共に考えを深め、学びを共有した。今回学んだことを、どう活かしていくかが課題である。



◆大館3日目

(1)釈迦内小学校 サンフラワープロジェクト

児童がひまわりを用いて商品開発をしたり、地域との関わりの中での作りについて学ぶ「サンフラワープロジェクト」についての説明を、同協議会の方から受けた。



今後の展望

教育に関する仕事を志望する学生以外にも、それぞれの専門性を生かせる場にしたい。そして、交流の中で、それぞれの思いを形にするために、知らない領域にも一歩踏み出す力が育つような企画として、今後も毎年続けてほしいと考えている。

～「お土産バトル」の結果～

Q お土産バトルとは？

A 愛知県のお土産を通して、愛知県の観光地について知ってもらおう企画です。今回は名古屋市覚王山のえいこく屋と、みよし市に本店がある名古屋ふらんすを企画で使用しました。

Q お土産バトルのこだわりは？

A 西尾ゼミの学生が主体となって、お土産選び、観光地やお土産屋の調査、ポスター作成を行ったことです。お土産バトルで使用したお土産の販売者の方に直接、お土産のPRやこだわりについて伺いました。



実施メンバー:福田美咲
(国際文化4年)他学生
15名、教員1名



参加者	えいこく屋 (尾張)	名古屋ふらんす (西三河)
428	190	238



Q 今後の展望について

A 3月14日に実施される愛知県主催のあいち観光まちづくりフォーラムでも発表の機会を得ているため、観光にかかわる多くの人々にも発信する予定です。

Q 成果は？

A 愛知県庁やメディアとの連携を通して、本学の産官学連携活動に寄与し、本学の地域における重要性を向上させました。

お土産バトルの初日には愛知県観光振興課、刈谷のケーブルテレビ(キャッチネットワーク)、中日新聞の取材に応じ、本学の学生が地域振興に関心があることを示しました。

実施場所:刈谷PA・ハイウェイオアシスのお土産コーナーの一角。
実施時期:2019年1月24日～
2019年2月24日の22日間。

子どもの新たな学び・成長の場をつくりたい

子どもたちの発見・興味を生かした学び

大学生という子どもから見て新鮮な存在を生かした場

企画の
ポイント

★遊びの中の学びを重視

学びは与えられるものでなく、自ら得ようとするものだと感じてもらえるような企画を考案

実践

★計2回 開催

9月・12月に開催。

日程 9月22日 10:00～12:00

12月22日 13:30～15:30

場所 愛知教育大学教育交流館



参加者Aさん
また開催してほしい。



保護者Bさん
頭を使いながら楽しめるものばかりだった。

企画内容をいくつか紹介！

1 ペーパータワー

30枚の紙とはさみを用いて、どれだけ高さがだせるのかを考え、実践するもの。子ども達の柔軟な発想と、学年を問わずアイデアを出し合う姿が見られた。



2 YUME飛行機

はがきや割りばし等の身近なものを用いて、飛行機を作成。将来の夢や目標を描き、自分だけの思いの詰まった飛行機に。完成後はみんなで願いを込めて空へと発射！



3 空気砲実験

穴の形の異なる3種類の空気砲から出る空気のは、どうなるのか実験で調査！予想と反し、空気のはどれも丸で出てきたことに、子どもたちは驚いている様子だった。



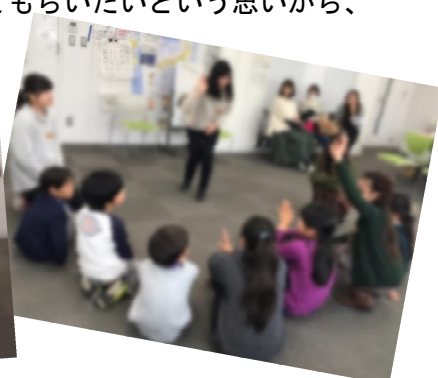
成果と展望

企画を考案する上で重視した「遊びの中の学び」を参加者である子どもたちに感じてもらえたと考えている。また、ペーパータワーなどの活動で子どもたちが自ら考え、実践し、改善するというサイクルが自然と生まれていたことにも価値を感じている。さらに、普段大学生と接する機会がほとんどない小学生にとって、本活動は子ども達の記憶に色濃く残るものになったと感じる。

今後は、活動後のアンケートで全ての参加者がまた参加したいと回答していたことも踏まえ、継続的な活動を考えている。また、今回の参加者以外の子どもにも参加してもらいたいという思いから、定員と回数を増やし行うことも視野に入れている。

メンバー

- | | | | |
|---|--------|----|-------|
| 1 | 初等教育科学 | 3年 | 荒井博子 |
| 2 | 初等教育科学 | 3年 | 武内彩音 |
| 3 | 初等教育科学 | 3年 | 小関彩夏 |
| 4 | 初等教育科学 | 3年 | 小林咲理奈 |
| 5 | 初等教育科学 | 3年 | 酒井彩 |
| 6 | 初等教育科学 | 3年 | 鈴木日菜子 |



1. 活動概要

ダンスを通して「自己表現」の楽しさを伝えたい！

近年の学校現場でのダンスの授業では、振り付けをまねてみんなと同じ動きをする授業も多い。

➡ 創作ダンスの指導・実践を通して、現場の子どもたちの「自己表現」する力を高めていきたい

2. 実施状況

- ①附属名古屋小学校
- ②愛西市立永和中学校
- ③知立キッズダンス教室
- ④弥富市立弥富北中学校

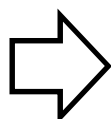


3. 成果

どの現場でも回を重ねるごとに、表現することや踊ることに抵抗が少なくなっていき、**子どもたち自身のオリジナリティある動きが出たりした**。また、教師や生徒の保護者からは「毎回楽しそうに踊っている」「表情が明るくなった」という声をいただき、活動の成果を感じることができた。

4. 今後の展望

- 表現運動の大切さ
- 表現運動を通して自己表現の幅を広げていく可能性



発表や発信の場を
設けていきたい！

5. メンバー

全16名 代表：高根 悠輔(日本語教育 3年)

先生になる人の留学を応援！



1. 活動概要

企画背景

教員志望者の留学が少ない。

教室や社会のグローバル化 教育留学を支える環境が必要

外国人児童生徒の増加

英語教育・留学の早期化

教育留学の認知度低い

留学に関する情報不足

グローバル人材育成の必要性

相談できる繋がり無い

教育留学を広める！ 情報不足の解消！

留学WEEK



留学ガイドブック



愛教大生による
愛教大生の為の
ガイドブック！

2. 実施状況

5日間で、5企画実施

- ・留学入門説明会
- ・世界の教育を知ろう
- ・パネルディスカッション
- ・ワークショップ「留学計画を立てよう！」
- 「教育留学そこまで言って委員会」
- ・留学紹介ポスター掲示

700部作成

- ✓ 愛教大の留学と、その他の留学を比較でき、特徴を理解できる
- ✓ 実習等を考慮した留学プランを実際の体験談を用いて提案
- ✓ 在学生・OBOGの留学体験談16名分を掲載！
- ✓ 身近な声も、現役社会人の声もあり、キャリアまで考えられる

3. 成果

- ✓ 多くの人が留学を決意留学相談者の増加
- ✓ アンケートで留学への学生のニーズ・現状把握も。

約250部以上配布済み (学生・教職員・保護者の方)

「こんなのがほしかった」

「もう何度も読んでます」

4. 今後の展望

来年度4月～5月頃に再度実施予定

課題

留学支援を続ける事

アジア留学の促進

更なる留学ニーズの理解

- ・400部を来年度の為に確保
- ・ガイドブックのデータ化・オンライン掲載

5. メンバー

(国際文化4) 今泉尚子 (国際文化4) 謝原遼 (国際文化4) 渡邊なづほ (中等数学4) 吉田遼平 (国際文化4) 中垣門花 (国際文化4) 嶋岡成美 (中等教育科学4) 岡田みゆき (初等理科3) 市川行之 (国際文化3) 武藤千歩 (初等英語4) 伊藤夏帆 (国際文化3) 中島あさ美 (初等英語4) 原田梨世 (国際文化4) 西脇愛 (留学生) 鳥居リリアンメイ (留学生) Sina Walter (事務職員) 中谷千咲さん



目標

参加者が楽しく学ぶことのできる
プラネタリウムの作成を目指す。

ハード面

- ・主投影機の改良
- ・星座絵投影機の作成
- ・朝夕焼け照明の作成
- ・街並みの再現



主投影機の改良

回転部の改良で、星
の日周運動が再現可
能となりました。

夕焼けそして街並み



綺麗な街並みと
夕焼けを再現す
ることができまし
た。

星座絵投影機

星座絵投影機の作
成で、星空に星座
絵の投影が可能に
なりました。



活動概要

ソフト面

- ・安城市文化センターの方々と協議
- ・他大学や科学館等と協議



安城市文化センターの方々との協議

プラネの解説
と開発につい
て、協議をし
ました。



福井大学・福井新聞社の方々との交流

福井大学の方
とプラネの開
発について話
し合い、取材を
受けました。

SNSでの情報発信

Twitterで、学生チャレンジ・プログラム2018の情報を発信しています。 →@COREplanelab
(代表) 谷口 健(中等理科2年) 他 学生21名

プラネタリウムの出張公演
をします。依頼はこちらから
→auecore@gmail.com

他